



県内の西部地域で唯一正看護師を養成

成しているわが学園で先般戴帽式が行われた。今日では医療現場でナースキヤップをかぶることは院内感染の問題

が問われるようになりほとんどなくなつたよう

だ。しかし、この戴帽式

は「看護師を目指す」学

生にとっては極めて大き

な意味を持っているよう

で、この式が無事終了す

ると「看護師になる」と

いう意志が大変強くなるという。ベテ

ランの看護師に尋ねても戴帽式が大

きな節目でしたという言葉を多く聞

く。

近年大学に看護学部などが数多く設

置されてきているが、看護師が必要な

のは大学のある都市部だけではない。

5年一貫看護師養成



草野 義輔

医療機関のある所には必ず看護師が必要であり、コロナ禍の頃エッセンシャルワーカーの代表としてその大切さが再認識されたはずだ。

看護師の養成は大学、短大、専門学校と幾つもあるが、わが学園は5年一貫という形の看護師養成制度を取り入れており、高校3年間と専攻科2年間をつなげた形で養成を行っている。

この制度は看護師になる最速の制度であるが、大学のない地域でも可能な制度でもある。結果九州はこの制度を取り入れた学校が全国で一番多い地域となっている。

看護師がどんな田舎でも必要だとすれば地方でも養成可能なこの5年一貫制度は極めて貴重な制度だと思う。大切に守らなければ、と思っている。

(昭和学園高校理事長・日田市)